

南部中学校だより

特 別 号 2024.10.10

令和 6 年度

全国学力・学習状況調査結果

4月18日(木)に全国の小学6年生
と中学3年生を対象に実施したもの
です。

今年度も生徒の学習状況の改善や、家庭教育との連携、教科指導の充実などに役立てるため、全国の中学3年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。今年度は国語、数学の筆記試験と、生活の状況等についての調査がありました。本調査の結果から、本校生徒の学力・生活状況について特徴的な傾向を紹介し、今取り組んでいること、家庭や地域と連携したいことを報告します。生徒は後日、英語の試験も受けていますが、これは文部科学省の標本調査(全国の英語の学力状況を推定するために一部の学校に試験を受けてもらう)に協力したもので、学校ごとや生徒個々の結果は非公開になっています。

南部中生徒の「学力・生活の状況」

学力の状況

平均正答率(%)

国語	全体	言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語 文化に関する 事項	話すこと・聞 くこと	書くこと	読むこと
本校	54.0 %	53.1 %	53.1 %	87.5 %	55.2 %	59.4 %	43.8 %
県	57.0 %	56.7 %	58.6 %	79.8 %	56.1 %	64.3 %	46.2 %
全国	58.1 %	59.2 %	59.6 %	75.6 %	58.8 %	65.3 %	47.9 %

数学	全体	数と式	図形	関数	データの活用
本校	45.0 %	44.4 %	26.0 %	57.8 %	46.9 %
県	50.0 %	47.4 %	37.3 %	58.6 %	54.9 %
全国	52.5 %	51.1 %	40.3 %	60.7 %	55.5 %

問題の傾向としては、実際に「社会の中で生きる力」を測る問題が多く出題されています。

各教科ともに問題数は少ないですが、内容を的確に読み取り、出題者の意図をくみ取った上で、適切な用語を用いて正しく表現する力を求める問題が多く出題されています。

国語科より

正答率は、全体58.1%(全国)、57.0%(鳥取)に対して54.0%と、平均よりやや低い結果となりました。

領域別では、知識・技能にあたる領域では、「我が国の言語文化」は+11.9%であるものの、「言葉の特徴や使い方」で-6.1%、「情報の扱い方」では-6.5%となりました。言葉の持つ意味やその扱い方の理解力が乏しいことがわかります。

また、思考力・判断力・表現力の領域では、「話すこと・聞くこと」で-3.6%、「書くこと」では-5.9%、「読むこと」では-4.1%となりました。前述のように、言葉の持つ意味やその扱い方の理解力の乏しさから、読み取ったり書き表したりすることが難しくなっていると考えられます。また「書くこと」で無回答率が18.8%と高い結果だったこともこれらが原因と考えられます。

今後は、文章、言葉の持つ意味やその扱い方を重点的に学習し、読解力や表現力の向上にもつなげていきたいと思います。

【誤答が多かった問題の例】

本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで要約しなさい。

ア 筆者が葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて

イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

【正答率;本校 37.5%(無答 3.1%) 全国 42.6%(無答 8.4%)】

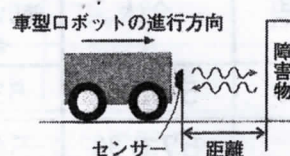
数学科より

正答率は、全体52.5%(全国)、50.0%(鳥取)に対して45.0%と平均より低い結果となりました。特に「図形」(全国より-14.3%)と「データ活用」(全国より-18.6%)の分野が低いという結果が出ています。

【誤答・無答が多かった問題の例】

- ①センサーで障害物を感知して止まる自動車について、車型ロボットを使って実験する問題で、走る速さを変えて20回ずつ実験したときの複数のデータからわかることを読み取り、判断の理由を説明しなさい。

【正答率;本校 12.5%(無答 31.3%) 全国 25.9%(無答 29.4%)】



- ②ストーブを「強」と「弱」の場合でそれぞれ燃やし続けたときの実験データを比べる問題で、満タン(18L)の場合の使用できる時間の違いを求める方法を説明しなさい。

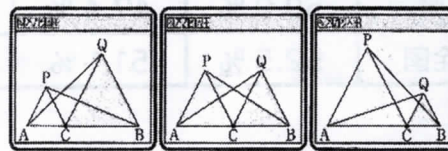
【正答率;本校 9.4%(無答 31.3%) 全国 17.1%(無答 32.4%)】

説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

- ③線分 AB 上に点 C を決めて、正三角形 PAC、QCB をつくる問題で、点 C の位置によってできる正三角形の大きさは変わるが、辺 AQ、PB の長さは常に等しくなることを証明しなさい。

【正答率;本校 15.6%(無答 53.1%) 全国 19.3%(無答 33.6%)】



大問はすべて、4~6ページにわたり出題され、ほとんどが上記のような記述問題でした。近年、複雑な事象を数学的に読み解き、式や記号を使って数学的に説明する力が問われる傾向にあります。

このような問題の正答率を上げるためには、問題を深く読み込み整理する力に加えて、正解まで導ける確かな計算力をつける授業や、このような問題を多く取り上げて、あきらめないで挑戦しようとする態度を協同的に高める授業に努めたいと思います。

生活の状況

質問調査の結果より

～学校生活・家庭生活・地域との関わりなど～（県との比較）

生徒質問調査の結果から、県と比較して、肯定的回答の割合が高い項目と低い項目のうち、主なものを抜粋してみました。

【主に生活に関すること】

肯定的回答率の比較		肯定的な回答(%)			
		本校	鳥取県	全国	県比較
県より高い項目	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	88.3	76.8	76.1	+11.5
	友達関係に満足していますか	100	90.5	90.1	+9.5
	健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	82.4	75.1	76.7	+7.3
	自分には、よいところがあると思いますか	88.2	82.7	83.3	+5.5
	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.2	82.9	83.8	+5.3
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100	95.3	95.2	+4.7
	朝食を毎日食べていますか	97.1	92.8	91.2	+4.3
	将来の夢や目標を持っていますか	70.6	66.5	66.3	+4.1
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	88.2	84.2	80.7	+4.0
	人が困っているときは、進んで助けていますか	91.2	88.8	90.1	+2.4
県より低い項目	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	85.3	92.3	90.4	-7
	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	64.7	71.5	67.5	-6.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.2	93.4	92.5	-5.2
	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	70.6	75.3	76.2	-4.7

鳥取県平均と比較して、主に生活に関することについては否定的な回答は少ないです。多くの項目で、肯定的な回答が多くなっています。家庭や学校での生活に前向きに取り組み、地域に根ざした生活をしていると考えられます。「先生に認められている」「先生や学校の大人に相談できる」という回答が県より低くなっています。

【主に学習に関すること】

肯定的回答率の比較		肯定的な回答(%)			
		本校	鳥取県	全国	県比較
高い質問項目と比べて	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	100	89.2	89	+10.8
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.2	79.9	78.5	+8.3
	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	94.1	86.3	85.7	+7.8
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	97.1	90.8	90.6	+6.3
	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	85.3	79.3	78.7	+6.0
	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	91.2	86.8	85.6	+4.4
	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	97	92.7	92.3	+4.3
	国語の勉強は好きですか	70.6	66.4	64.3	+4.2
	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	85.3	81.2	82.4	+4.1

肯定的回答率の比較		肯定的な回答(%)			
		本校	鳥取県	全国	県比較
低い質問項目	数学の勉強は好きですか	35.3	56.7	57.2	-21.4
	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	64.7	83.2	82	-18.5
	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	61.8	77.7	76.7	-15.9
	数学の授業の内容はよく分かりますか	55.9	71.4	75.7	-15.5
	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	70.5	84.4	80.2	-13.9
	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	67.7	81.2	77.7	-13.5
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	67.7	80.5	77.9	-12.8
	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	61.7	72	68.8	-10.3
	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	67.7	77.4	75.4	-9.7
	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	79.4	88.7	86.2	-9.3
	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	73.6	81.3	80.5	-7.7
	理科の勉強は好きですか	61.8	69.3	68.3	-7.5
	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	82.4	89.4	86.3	-7
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	79.4	86.2	82.2	-6.8
	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる	82.3	88.8	85.2	-6.5
	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	73.5	79.1	78.1	-5.6
	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	76.5	80.9	79	-4.4

国語、数学の授業で学んだことが将来役立つという回答が多いことから、多くの生徒は学習の大切さをよく理解しているようです。しかし、勉強が好きという回答率や授業がよくわかるという回答率は県より低く、勉強に苦手意識を持つ生徒の割合が多いようです。学力状況の分析を見ても、数学と英語の正答率が県や全国より低いことがわかります。

また、塾を含む家庭学習時間に関する質問で、2時間以上と回答した生徒が11.7%(県は23.4%)、30分未満と回答した生徒が29.4%(県は17.4%)となっています。家庭学習が不足していることがよくわかります。このことが、学習内容が定着しにくい原因の1つと考えられます。

これからの取り組みについて

学校では、生徒を認める発言に心がけるなど、生徒に寄り添い、相談できる大人になれるよう取り組んでいきます。授業では、協同的な活動を増やすなど、学習の意欲を高める工夫や、生徒にわかる授業になるよう工夫していきます。

家庭では、計画的に家庭学習(予習や復習)に取り組めるように見守っていただくようお願いします。